

2014年 6月22日 [日] ▶ 29日 [日]

神学校週間をおぼえて

「あたりまえ」が見えない時こそ

常務理事 吉高 叶



今年も「神学校週間」を迎える季節となりました。献身し、伝道者となっていく備えの中にある神学生たちと、その学びの場である神学校を憶え、祈りつつ献げてまいりましょう。

さて、「教会に牧師がいる」というのはそんなにあたりまえのことではありません。そもそも「人が牧師になる」ということがあたりまえではないのです。そして、いま牧師になっている人にとって、「牧師になったことは、あたりまえだったのか」というと、そんなことはありません。いま仕えている教会に赴任し、その教会の地域で暮らすようになることも、たいていは、まったく考えたこともなかった事柄でして、ちっともあたりまえでは無い場所に招かれて生きていますし、生きていこうとしているのです。

そんな未知の道のりに不安を抱きながら、学び、祈り、導きを待っている人たちがいます。神学生たちです。自分で「必然」を引き寄せることができない時間や環境の中に身を置き、祈る日々。不確定で不安な時間。これこそが、神学校に身を置く事の大切さなのだとも言えます。「あたりまえ」の何一つ見えない時こそが、人間が最も心低くされ、委ねるしかない自分を味わうときだからです。

召命と研鑽、招きと決断、家族の理解、そんな縦の線と横の線が織り合わされ、出会いをいただきながら、ひとりの人がひとつの教会の牧師となっていきます。ほんとうに人知で計（はか）ることのできない業なのです。

神学生と神学校を憶えて祈ろうではありませんか。

神学生の証し

() 内は推薦教会

お祈りに支えられて

九州バプテスト神学校 牧師コース1年 樺島瑞代 (和白バプテスト教会)



2006年、天城山荘での女性連合総会に初めて参加し、藤田英彦先生の講演で「犬とバプテストは殺してもいいと言われた時があった」という言葉を聞き、ショックを受けました。バプテストのことを学びたい、と思われ、翌年九州バプテスト神学校の「1年研修コース」を受講しました。正直、それまで神学校は私にとっては牧師になる人が学ぶ特別な学校、というイメージがありました。しかし、経験豊かな先生方による講義は具体的で、実際の教会生活と直結していて、学ぶたびに、もっと学びたい！という思いが胸に来るのです。その思い

に突き動かされて、聴講、本科コースと7年間学びました。そして今年、和白バプテスト教会から推薦を受け、主事として教会にお仕える為に「主事の学び」を深めたく、牧師コースに入学させていただきました。お祈りに支えられて、新たに献身の心をもって身の引き締まる思いで学び始めています。

九州バプテスト神学校は夜間の学校です。働きながら学べます。先生方の熱意はもちろんですが、共に学ぶ友の存在は大きな力です。私は通学ですが、通信で学ぶたくさんの友がいます。自宅でひとり学び続けることは何倍も大変だろうと、カメラの向こうの友の姿を想像し、祈る時、学ぶ力、喜びを与えられます。また、推薦教会はもちろん、全国の諸教会・伝道所の多くの方がたのお祈りに支えられて、私たちが学ばされていることを、連盟事務所での「神学校入学前研修会」に参加して実感しました。主の召しに応え、皆様の多くのお祈りに支えられて、神学校で学び、主の教会と社会にお仕えしていきたいと願っています。

神学校があればこそ、学ぶために働く

東京バプテスト神学校 本科2年 田中宣之 (筑波バプテスト教会)

昨年の4月に28年間務めた仕事を早期退職して本科に入学しました。1年目は何をどう学んでいいのか不安でしたのでとにかく休まず通うことを目標にしました。つくばから高速バスを使い片道約2時間をかけて週4日通いました。通学の良いところは先生との距離が近いこと、学びを共にする仲間がいること、ホワイトボードの板書がよく見えること、神学校の図書室を自由に利用できることです。後期には神学校の近くで契約社員としての職を得て、早朝のバスに乗り朝から都内で働いて夕方から学ぶ生活になりました。そしてあっという間に1年が過ぎ、1日も休まずに単位を取得することができました。

2年目はインターネットによるライブ授業での学びに切り替えることにしました。最初、不安定に感じたライブ授業もだんだん改善して安定してきたからです。4月から週1日は筑波教会の主事としての事務、その他4日は地元でパートタイムの仕事を得ることができました。そして午後6時には自宅の一室でパソコンの前でスタンバイしています。

就職面接で夜間の神学校に通うために残業の無いパートタイムの仕事につきたいと言うと反応が二手に分かれます。これまでの結果は2勝2敗です。「54歳から5年間学んで牧師を目指すとはずいぶん遅咲きですね」と言われた時には、「75歳で入学して81歳で牧師になった先輩もいます」と答えました。教会の皆様の祈りと励ましに支えられて5年間の学びを全うしたいと願っています。



主に自分を変えていただく時



西南学院大学神学部博士前期2年 杉山望 (所沢キリスト教会) 神学部での最後の1年を迎えました。あっという間の3年間でしたが、多くのことを教えられ、成長させられた3年間でした。その間、学費と生活費を支援していただき、神学寮という生活の場も与えていただいたことによって、学びに集中することができました。たくさんの祈りとご支援を心から感謝いたします。

西南での学びの間に、神学の専門的な深い学びができることはもちろんですが、多くの出会いの機会を得ることもできます。集中講義、研修教会や連合、夏期研修やボランティア、各地への旅などを通して、私は多くの出会いを与えられました。そしてその出会いは、教室での学び

の良い刺激となっています。例えばルワンダでの出会いは、「和解」や「赦し」といった神学の重要テーマを問い直し、聖書をより深く読むきっかけとなりました。

パウロはローマ書12章2節で、「心を新たにしておいて自分を変えていただきなさい」と命じています。私にとって神学校での出会いと学びは、主に自分を変えていただく時でした。その変化は自分が思い描いていたものではありませんし、出会いを通して自分の罪に気づかされ、悩み苦しむこともあります。しかし、変えられることによってイエス・キリストと新たに会い合わせられ、自分の想いに留まるのではなく、主の御心を求めて歩み続けるようにされているのだと思います。残された時も、主によって変えられることを恐れずに歩いていきたいと思えます。

2014年度神学校週間にあたって 全国壮年会連合

6月22日（日）より神学校週間が始まります。まずは、西南学院大学神学部、東京及び九州両バプテスト神学校において伝道者となる召命のもとで学ぶ神学生のために祈りましょう。

神学校週間は、日本バプテスト連盟においても、全国壮年会連合においても伝道者養成の業への参与として、大変重要な働きを覚える時となっています。その働きは、各教会で壮年たちが中心となり、他の教会員の方々からのご支援をいただきながら担わせていただいていると言えます。

「神学校献金（神学生奨学金献金）」は、神学生の奨学金として用いられてきました。特に、第58回連盟総会（2012年）において「神学校献金用途拡充の件」が可決されたことに合わせて、「神学校献金」の名称を「神学校献金（神学生奨学金献金）」と献金の本来の役割をあらわすものに改めるとともに、2013年度からは、西南学院大学神学部の神学生ばかりでなく、東京及び九州両バプテスト


神学校で学ぶ神学生のためにも奨学金が貸与されることとなりました。ぜひ、この三つの神学校で学ぶ神学生のためにもお祈りください。

いま、残念ながら無牧師の教会・伝道所が増える傾向にあります。私たち壮年会連合はそのことに強い危機感を感じ、新たな神学生が生み出されるように祈っております。必要とされる伝道者を満たすためには、毎年25名の神学生を奨学金で支えたいと願っております。そのため、3,000万円を目標額としてきました。今年度も私たちは3,000万円へのチャレンジを続けていきます。

「神学校献金（神学生奨学金献金）」推進は決して壮年たちだけの業ではありません。ひとりでも多くの献身者が送り出され、ひとりでも多くの伝道者が生み出されるようにとの思いは、私たちバプテストの群れの願いでもあり、信徒一人ひとり、教会・伝道所一つひとつに与えられた業なのだと思います。

全国壮年会連合副会長（神学校献金推進担当） 野口 正俊（志村教会）

証 東京地方壮年連合神学校献金推進委員 山田誠一



私が神学校献金推進委員として働かせていただくこととなって三年が経ちました。よく、会長もやりながら大変ですね！・・・と言われる。そうだと思います。しかし、メリットもあります。東京地方壮年連合は色々な働きの中でも、このことに力を入れてきたからです。会長が兼任することで、自ずと重点に置くようになってしまいます。しかし、今まで二年間は、重要なんだけど、どう取り組むのか具体的に示せなかった所があります。それでも献金は少しずつ増えていました。2013年度は大きく献金額が伸びたこと喜ばしく思います。何でこうなったのでしょうか？私たちの取り組んだことが祝されたのでしょうか。やってきたことは次のような小さなことの積み重ねでしかありません。

- 毎年の東京地方壮年連合の定期総会(11/23)で必ず意見交換をします。2013年度もある代議員からするどい指摘を受けました。それは全国レベルではトップクラスの献金状況だが、壮年一人の献金額で見るとかなりひくい、というものです。私たち役員は気付いているのですが、まったく関わっていただけない大きな教会があること、また、献金していただけない教会・伝道所が15もあることなどです。それらの教会・伝道所に対して理解を得る活動を、それぞれの事情を勘案しながら進めています。
- その課題をどうするかを毎回役員会で話し合います。役員それぞれの教会での取り組みを紹介し合ったりしました。まず、役員が全員、このことに強い関心をもつように心がけたのです。
- はじめて東京連合の目標金額を定め、祈り働きかけました。前年度までが400万円前後でしたので、2013年度は450万円をクリアしたいと思ったのです。祈りを重ね、なんとか関わり合いたいと願いつつ、機関誌の充実や研修会に取り組みました。しかし、大きな影響があったのは、全ての伝道者をささえようと東バブの神学生にも奨学金が貸与されるようになったことだと私は思っています。

神学校献金（神学生奨学金献金）額の推移

年度	献金額
2008年度	2490万円
2009年度	2411万円
2010年度	2325万円
2011年度	2345万円
2012年度	2228万円
2013年度	2292万円

西南学院大学神学部及び東京・九州両バプテスト神学校で学ぶ神学生

神学生氏名（学年、よみ、推薦教会）

【西南学院大学神学部】 26名 <2014年度奨学金貸与者数：19名>

博士後期	柏本隆宏(3年・かしもと たかひろ・福岡国際)、城 俊幸(1年・たちとしゆき・西戸崎)
博士前期	浦 肇(2年・うら はじめ・佐賀)、小野祐基(2年・おのひろき・相模中央)、余 信鎬(2年・ヨ シノ・福岡城西)、杉山 望(2年・すぎやま のぞむ・所沢)、小林大記(2年・こばやし ひろき・常盤台)、田宮宏介(2年・たみや こうすけ・福岡国際)、國分美生(1年・こくぶん みお・市川八幡)、河端真理子(1年・かわばた まりこ・福岡新生)、泉 遼也(1年・いずみ えりや・野方)
専攻科	大野裕昭(おおの ひろあき・仙台)、川端恵実(かわばた めぐみ・神戸)
学部神学コース	青木紋子(4年・あおき あやこ・南光台)、福久織江(4年・ふくひさ おりえ・函館)、藤方玲衣(4年・ふじかた れい・港南めぐみ)、米本裕見子(4年・よねもと ゆ
選科	吉田尚志(よしだ なおし・盛岡)、永松 博(ながまつ ひろし・野方)、宮田祐亮(みやた ゆうすけ・富山小泉町)、横濱 峰二子(よこはま ふじこ・札幌)
特別研修生	加山 献(かやま ささぐ・新潟主の港)、岡田富美子(おかだ ふみこ・那覇新都心)

【東京バプテスト神学校】 8名 <2014年度奨学金支給予定者数：4名(第1回連盟理事会にて決定する)>

神学専攻科	山本弘夫(やまもと ひろお・東京第一)、金香泰誠(かねこ ひろのぶ・常盤台)、末盛桜子(すえもり さくらこ・多摩川)、鶴ヶ岡裕一(つるがおか こういち・篠
教会教育専攻科	岡村ゆり(おかむら ゆり・奈良)
教会音楽専攻科	山崎美奈(やまざき みな・西川口)、杉浦優子(すぎうら ゆうこ・藤沢)

【九州バプテスト神学校】 4名 <2014年度奨学金支給予定者数：1名(第1回連盟理事会にて決定する)>

牧師コース	平原裕子(2年・ひらはら ひろこ・朝霞)、樺島瑞代(1年・かはしま みずよ・和白)、文 一培(1年・むん いるべ・博多)、尹 正鉉(1年・ゆん じょんひょん・博多)
-------	--

神学校献金（神学生奨学金献金）、奨学金についてのQ&A

Q: 各教会ではどのようにして神学校献金をあげたら良いのですか。

A: 毎年6月に行われる神学校週間を用いて献金される教会・伝道所が多いと思いますが、年間を通して神学校献金をあげているところも増えています。また伝道者養成の業の一つとして本活動の推進を連盟から全国壮年会連合に委ねられていますので、壮年が主体的に働かれることが多いと思いますが、是非教会の皆さまに働きかけていただき教会の業となることを期待しています。なお、具体的な働きは壮年会連合ニュースなどで紹介していますので、是非参考にしてください。

Q: 奨学金の内容は何ですか？

A: 西南学院大学神学部神学生には、1種奨学金(授業料や施設費など 校納金)と2種奨学金(生活費補助)を貸与(一部返還の義務があり)しています。尚、東京バプテスト神学校や九州バプテスト神学校の神学生には、両神学校から支給される奨学金の資金として供与していますが、全額、授業料に充てられます(中途退学や伝道者とならなかった場合は、返還義務が生ずる)。

Q: 昨年から神学校献金の名称が変わったのはなぜですか？

A: 神学校献金は従来から、西南学院大学神学部で学ぶ神学生の授業料と生活費の一部を支えるため、奨学金という形で用いられてきました。更に2012年の連盟定期総会において、西南学院大学の神学部だけでなく、東京バプテスト神学校や九州バプテスト神学校で、教師となるために学ぶ神学生にも用いられるよう「神学校献金用途拡充」として提案され議決されました。そこで「神学校献金」の用途を明確にするため、昨年より「神学校献金(神学生奨学金献金)」という名称に変更いたしました。

Q: いつも目標に達成していないようですが

A: 西南学院大学神学部神学生の25名を支えることを想定して3000万円という目標を掲げていますが、ここ数年は22名前後のため何とか支援ができています。今後は、東京バプテスト神学校や九州バプテスト神学校の神学生への支援が加わったことや、西南学院大学の授業料値上げなども考慮すると、より一層目標達成のために祈り、献げることが求められます。 以上